

シラバス

学科名	文化芸術学科	科目名	プレゼンテーション	
授業内容	<p>《授業概要》</p> <p>ビジネス上でのプレゼンテーションソフトを用いた情報伝達について、実習を交えて講義を行う。学習においては、スライドの作成、テキストおよびビジュアル要素の利用、プレゼンテーション実践などの内容が含まれる。具体的には、各自が考案したテーマに沿って①プレゼンコンセプトの設定、②シナリオの構築、③スライドの作成、④グループワークおよび個別のディスカッション、⑤プレゼンテーションの準備（リハーサル）、⑥発表および振り返りをそれぞれが行うことを通して、効果的なコミュニケーションの方法を習得する。</p> <p>《学習の到達目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) プレゼンテーションに必要なソフトウェアの基本操作を習得する【創造と表現力】 2) 説得のコミュニケーションの習得【創造と表現力】【自ら考える力】 3) 企画立案能力と、企画内容の実施能力を育成する【自ら考える力】 4) 相手に情報を効果的に伝える情報デリバリー能力を育成する【創造と表現力】 5) 個別指導における積極的にディスカッションする姿勢【自ら考える力】 			
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 第1回：ガイダンス 第2～3回：（講義）ロジカルシンキング・情報デリバリー、中間発表出題 第4～5回：（演習）テーマからシナリオへの展開、中間発表準備 第6～7回：（演習）PowerPoint 操作演習 第8～9回：（演習）シナリオからスライドへの展開、中間発表スライドチェック 第10～12回：（演習）中間発表（全員）& 相互評価 第13回：（講義）情報デリバリービジュアル要素 第14回：（演習）最終発表準備1：イントロ・結論 第15回 前期単位試験 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 第16回：（講義）情報デリバリーフィジカル要素 第17～18回：（演習）最終発表準備2：本論1 第19回：（講義）リハーサルの方法 第20～21回（演習）最終発表準備3：本論2 第22回：（講義）質問と応答 第23～24回（演習）最終発表準備4：自己リハーサル 第25回：（演習）最終発表準備5：グループ内練習もしくはリハーサル 第26回：（演習）最終発表準備6：グループ内練習もしくはリハーサル 第27～30回：（演習）最終発表&相互評価 </td> </tr> </table>			第1回：ガイダンス 第2～3回：（講義）ロジカルシンキング・情報デリバリー、中間発表出題 第4～5回：（演習）テーマからシナリオへの展開、中間発表準備 第6～7回：（演習）PowerPoint 操作演習 第8～9回：（演習）シナリオからスライドへの展開、中間発表スライドチェック 第10～12回：（演習）中間発表（全員）& 相互評価 第13回：（講義）情報デリバリービジュアル要素 第14回：（演習）最終発表準備1：イントロ・結論 第15回 前期単位試験
第1回：ガイダンス 第2～3回：（講義）ロジカルシンキング・情報デリバリー、中間発表出題 第4～5回：（演習）テーマからシナリオへの展開、中間発表準備 第6～7回：（演習）PowerPoint 操作演習 第8～9回：（演習）シナリオからスライドへの展開、中間発表スライドチェック 第10～12回：（演習）中間発表（全員）& 相互評価 第13回：（講義）情報デリバリービジュアル要素 第14回：（演習）最終発表準備1：イントロ・結論 第15回 前期単位試験	第16回：（講義）情報デリバリーフィジカル要素 第17～18回：（演習）最終発表準備2：本論1 第19回：（講義）リハーサルの方法 第20～21回（演習）最終発表準備3：本論2 第22回：（講義）質問と応答 第23～24回（演習）最終発表準備4：自己リハーサル 第25回：（演習）最終発表準備5：グループ内練習もしくはリハーサル 第26回：（演習）最終発表準備6：グループ内練習もしくはリハーサル 第27～30回：（演習）最終発表&相互評価			
教科書	1分で話せ：世界のトップが絶賛した大事なことだけシンプルに伝える技術 伊藤羊一 SB クリエイティブ 1,540円			
成績評価の基準と方向	<p>授業・実習・ディスカッションへの参加姿勢（25%）、企画メモ・要旨などの途中提出物（25%）、最終発表会におけるプレゼンテーション・司会・質問（50%）で評価をする。</p> <p>学習目標の到達度90%以上でS、80%以上でA、70%以上でB、60%以上でC、60%未満を不合格評価とする。最終発表を行わなかった者は不合格評価とする。</p>			
履修上の注意点	<ol style="list-style-type: none"> 1) 遠隔受講が可能な通信環境と実習用デバイス 2) Web会議で発信可能な周辺機器（カメラ・マイク） 3) ソフトウェア（PowerPoint、Teams など） 			